

## 北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区交流まつり2022		北区交流まつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
北区に住み・働く人々が集い、相互に連帯感を強め、まちづくり意識の高揚を図り、地域社会の発展に寄与することを目的に交流まつりを開催する。	北区15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージ、地域物産展、消防、警察、自衛隊、その他各団体による出展、福祉PRコーナーなどを行う。	来場者数(人)	-	-	35,000
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
◎	住民と協働して実施することで、まちづくりへの参加意識の高揚を図るとともに住民相互の交流を深めることができる。	◎	北区自治連合協議会と北区長で構成された実行委員会が実施しており、準備段階から多くの住民がボランティアスタッフとして運営に関わっている。	◎	堺市や他県の特産品販売を行う「地域特産市」など出展内容に毎年趣向を凝らしている。
④効率性		○	住民と協働して実施するにあたり、専門の部会を設置し、各々で会議や準備を行うことにより、効率的な運営が実現できている。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	様々な団体に関わる大規模な事業であり、円滑な運営を図るため、区が事務局を担っているが、地域住民との協働ができていない。しかしながら、市からの負担金に依存した事業になっているので、自主財源の確保が課題である。	◎	3年ぶりの開催ということもあり、当日は幅広い世代の来場者で賑わい、盛況のうちに行事を終えることができた。 新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しつつ、事前の調整やスタッフ同士の連携により、目立ったトラブルや事故もなく円滑な事業実施ができた。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	昨年度、一昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、事業の実施を見合わせる事となったが、今年度は、例年と比較して開催内容を見直すなど新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しながら3年ぶりに開催することが出来た。 次年度についても、感染症対策と参加者の交流・親睦との両立を図る観点から、開催会場のレイアウトや開催プログラムの策定に留意しつつ、安全・安心かつ参加者の心に刻まれる事業の実施に向けて準備を進めていく。				